

## 令和7年度 大田原市職員採用試験



問総務課 本6階  
TEL 0287-23-8702

令和7年度から採用試験が変わります。

- ①前期試験と後期試験の2回実施(後期試験は7月から募集開始予定)
- ②一次試験(筆記試験)を教養試験から基礎能力試験に変更
- ③前期試験の一次試験は、テストセンター方式で実施
- ④技師の一次試験の専門試験を一般事務と同じ基礎能力試験に変更(特定の資格を有する方は一次試験免除)

職種	募集人数	受験資格※	一次試験	二次試験
一般事務	10名程度	平成7年4月2日～平成19年4月1日に生まれた方	●日時 5月28日(※)～6月18日(※) ●場所 全国約350箇所のテストセンター	●日時 7月中旬 ●場所 大田原市役所本庁舎
技師 (土木・建築・電気・機械)	若干名	昭和60年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学、短大又は高等学校等において、土木、建築、電気若しくは機械に関する課程又は科目を修めて卒業した方	●試験内容 基礎能力検査(SCOA-A) 性格適性検査(SCOA-B)	●試験内容 論文試験、集団面接、個別面接

※高等学校在学中の方は、後期試験(9月21日実施予定)を受験してください。

- 合格発表 ▶一次試験 6月下旬▶最終合格発表 8月上旬
  - 申込方法 4月1日(※)8:30～5月23日(金)17:15に市HPの申込フォームから申し込み
- ※詳細は募集要項をご確認ください。募集要項は、3月1日(土)から市HPで公表します。

## 市制施行70周年記念に合わせて期間限定公開 広報おおたわら表紙展を開催します

問情報政策課 本6階  
TEL 0287-23-8700

「広報おおたわら」は昭和38年5月に第1号が発行され、以来、少しずつ形を変えながら市民の皆さまに情報を届けてまいりました。

昭和38年から令和6年までの約60年間で作成された広報紙のうち、現存するデータから約100枚の表紙を印刷して展示します。展示を通して、時代の移り変わりや本市の魅力を再発見してみませんか。

- 日時 3月1日(土)～4月13日(日) 平日 8:30～17:15、土日 8:30～17:00
- 場所 市役所本庁舎南側ギャラリー(1階柱付近)

平成5年8月15日▶  
高校総体の表紙



## 令和6年度 大田原市男女共同参画推進事業者表彰



問政策推進課 本6階  
TEL 0287-23-8715

市では、男女が互いを尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を発揮できる働きやすい職場づくりに向けて、積極的に取り組んでいる市内事業者を称えるための表彰制度を設けており、本年度は次の3事業者を表彰しました。(50音順)

- 【表彰基準】
- ・性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大
  - ・仕事と家庭生活、その他の活動との両立支援
  - ・男女の人権に配慮し、男女が共に働きやすい職場環境づくり
  - ・その他、男女が共に参画できる社会づくりに向けた取組

### 株式会社栃木ニコン(実取、光学機械器具製造)

- ①仕事と家庭生活、その他の活動との両立支援 育児・介護を行うためのフレックスタイム勤務制度等を設け、柔軟な働き方が可能となる環境整備を進めています。また、永年勤続された従業員を対象に特別休暇制度を整備し、従業員が新たな気持ちで仕事と人生に取り組む機会を提供しています。
- ②男女の人権に配慮し、男女が共に働きやすい職場環境づくり 「安心・安全の職場づくり」の取組として、職場上長による個人面談を実施するほか、倫理ホットライン相談窓口として社内担当と外部の専門業者による相談窓口を設けるなど、従業員の不安解消に努めています。

### 株式会社栃木ニコンプレジジョン(実取、光学機械器具製造)

- ①仕事と家庭生活、その他の活動との両立支援 出産・育児・介護に関する特別休暇制度やフレックスタイム勤務制度、短時間フレックスタイム勤務制度を整備し、全社員が確認できる社内イントラネット上で周知するなど、制度を活用しやすい環境づくりに取り組んでいます。
- ②男女が共に参画できる社会づくりに向けた取組 有給休暇を計画的に取得できる制度を整えるなど、男女が共に家庭環境の質向上に努められる機会提供を行っています。令和5年度の有給休暇取得率は87.8%でした。

### 社会福祉法人邦友会(北金丸、医療福祉)

- ①性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大 各部門に保有する資格や適性に応じて女性を配置するとともに、女性の管理職を積極的に登用しています。管理職の合計に占める女性の割合は令和6年11月1日時点で40%に達しています。
- ②男女が共に参画できる社会づくりに向けた取組 男女とも育児休業制度を活用しており、休業後も育児短時間勤務制度や育児のための時間単位の有給休暇制度など、仕事と育児の両立ができる雇用環境の整備に努めています。また、働きながら学びたい職員を経済的に支援する「キャリア支援・奨学金制度」を設けています。

## 市史編さん刊行物 新刊販売!!

問文化振興課 A別館2階 TEL 0287-47-5031  
問文化振興課 本4階 TEL 0287-23-3135

『大田原市史研究』の最新号が3月17日㊤に発売されますので、ぜひお買い求めください。

### 『大田原市史研究 第5号』

●価格 1,000円 ●仕様 A4判、口絵カラー2ページ・本文モノクロ102ページ

市史編さん事業のなかで調査研究を進めている、現代・自然・民俗の3部会の委員による成果速報の第5弾です。今回、現代部会からは近代以降に市内で唱歌や校歌がどう歌われてきたか、また、市町村章・憲章・木・花・魚など、自治体シンボル創設の歴史を取り上げます。自然部会からは、市内に600種以上いるハチの分布状況を考察し、令和5年の『大田原市史資料集第2集 大田原市の自然』の刊行以降に追加した種についても紹介しています。民俗部会からは、那須地域におけるコモ編みの道具について、市所蔵の民具を中心に写真と実測図で資料化した成果を報告します。

収録内容	・郷土はいかに歌われたかー近代以降の唱歌・校歌を中心にー (作間 亮哉)	 <p>明治三十五年五月起 日誌 佐良土分教室</p> <p>佐良土小学校日誌 (歴史民俗資料館蔵)</p>
	・大田原市のハチ目 (片山 栄助)	
	・那須地域におけるコモアミ用木製錘についての一考察ー大田原市歴史民俗資料館収蔵資料を中心にー (上野 修一)	
	・市史編さん委員長のつぶやき⑦ー山あいの地酒蔵ー (海老原 郁雄)	
	・市史編さん委員長のつぶやき⑧ー希少な敷石住居跡ー (海老原 郁雄)	
	・写真資料調査速報⑤ 自治体が創るシンボルの歴史 (市史編さん委員会現代部会・事務局)	
	・佐良土小学校日誌について (宮澤 友美)	
	・大田原市史編さん事業 令和6 (2024) 年度活動記録	
	・大田原市史編さんだより (Vol.42~53)	

### 既刊行物 好評販売中!!

『大田原市史研究 第5号』を含む各刊行物の購入方法については以下のとおりです。なお、それぞれの詳細な内容、仕様などは市HPをご覧ください。



No.	刊行物名	価格	販売窓口
1	大田原市史研究 第5号 (新刊3月17日㊤発売)	1,000円	・市史編さん係 (A別館2階) ※1 ・那須与一伝承館 ・なす風土記の丘湯津上資料館 ・黒羽芭蕉の館
2	大田原市史現代写真編 歴史を刻み大田原新時代へ (以下の刊行物は販売中)	4,500円	
3	大田原市史資料集 第3集 大田原市の民俗	3,500円	
4	大田原市史資料集 第2集 大田原市の自然	2,500円	
5	大田原市史資料集 第1集 大田原市の郷土誌	1,400円	・市史編さん係 (A別館2階) ※1
6	大田原市史研究 第1~4号	各1,000円	
7	大田原市史 後編 ※2	特価 2,000円 (定価7,000円)	
8	大田原市史 史料編 ※2	特価 1,000円 (定価4,000円)	

(※1) 4月1日以降は、窓口が市史編さん係から文化財係 (市役所本庁舎4階) に替わります。

(※2) 両書とも発行後35年以上経過しており、本体や外箱に黄ばみ・シミなど保管中の劣化が見られます。あらかじめご了承ください。また、7の『大田原市史 後編』については、内容の全文をインターネット上で公開していますので、ご理解の上ご購入ください。

### 郵送での購入方法

- ①電話・FAX・電子メールのいずれかにより、名前・住所・電話番号・希望の刊行物名・購入冊数を、下記の申し込み先までご連絡ください。
- ②折り返し、電話で送料 (レターパックなど) を含めた料金の合計をお伝えします。
- ③お伝えした料金を、「現金書留」で下記宛て先まで郵送ください。
- ④料金の到着後に発送いたします。

日時	申込先・宛先	連絡先
3月31日まで	文化振興課 市史編さん係 〒324-8641 大田原市本町1-3-1 A別館2階 市史編さん係	TEL 0287-47-5031 FAX 0287-23-3138 ✉bunka@city.ohtawara.tochigi.jp
4月1日以降	文化振興課 文化財係 〒324-8641 大田原市本町1-4-1 市役所本庁舎4階 文化財係	TEL 0287-23-3135 FAX 0287-23-3138 ✉bunka@city.ohtawara.tochigi.jp

# 市民学校・自主講座のご案内

問 生涯学習課 本4階  
TEL 0287-23-2005

- 対象者 満15歳以上の市内在住、または在勤者(自主講座 将棋教室は小学生以上)
- 申込方法 4月7日(月)～11日(金) 8:30～17:15に希望講座を開催する地区公民館に直接申し込み

※申込多数の場合は抽選となります。窓口での申込書の記入が必要なため、電話・FAXでの申し込みはできません。

- 費用(受講料) 無料(教材費は自己負担)

## 【市民学校受講案内】

※青字は新規開設講座、市外局番は「0287」

開催・受付場所	コース名	講師名	日時	定員	年間教材費など
大田原東地区 公民館 TEL 24-2777	心と身体の養生講座	渋井 幸	5～2月 第2・4㊟ 10:00～11:30	30	3,800円(ミニループ) 2,000円(ミニボール) 食材費(調理実習時) ヨガマット各自用意
	北欧刺繍教室	渡辺 悦子	5～2月 第2・4㊟ 13:30～15:30	15	教材費3,800円(新規) 他作品ごとに材料費
大田原西地区 公民館 TEL 23-8719	ベリーダンス	るな Luna	5～10月 第2・4㊟ 19:00～21:00	20	ヨガマット ヒップスカーフ 教材費5,000円程度
	ピラティス	土屋 佳奈	5～11月 第2・4㊟ 10:00～12:00	40	ヨガマット
	季節のフラワーアレンジメント	薄井 八重子	5～12月 第2㊟ 10:00～12:00	30	1作品3,300円
金田北地区公民館 TEL 23-3253	筋活体操	墨谷 真理江	5～1月 第1・3㊟ 13:30～15:30	40	ヨガマット 各自用意
	季節の料理講座	渡辺 恵津子	5～12月 月1回㊟ 9:30～12:00	20	食材費1回につき 約1,000円
	楽しいパンづくり	鈴木 宮子	5～8月 第4㊟ 9:00～12:00 13:30～16:30	12 12	食材費1回につき 約1,000円
金田南地区公民館 TEL 23-2260	ダンスエクササイズ『ZUMBA』	土屋 佳奈	5～12月 ㊟ 13:30～15:30	30	体育館シューズ ヨガマット各自用意
	大人のぬりえ& チョークアート講座	宮本 恵子	5～2月 第3㊟ 10:00～12:00	20	色鉛筆持参 材料費自己負担
親園地区公民館 TEL 28-2444	健康太極拳	村中 洋介	5～2月 第1・3㊟ 9:30～11:30	20	なし
	フラワーデザイン教室	橋本 春美	5～2月 第3㊟ 13:30～15:30	20	1作品約3,500円～4,000円
野崎地区公民館 TEL 29-2605	歌謡フラ	佐藤 加寿音	5～2月 第1・3㊟ 10:00～12:00	30	なし
	爽やかトレーナーの健康体操	川上 広志	5～2月 第2・4㊟ 10:00～12:00	30	室内シューズ ヨガマット各自用意
佐久山地区公民館 TEL 28-0872	ソフトエアロビクス	阿久津 あすか	5～2月 第1・3㊟ 9:30～10:30 10:30～11:30	20 20	体育館シューズ ヨガマット各自用意
	笑いヨガ講座	井上 雅敏	5～2月 第2・4㊟ 10:00～12:00	20	なし
湯津上地区公民館 TEL 98-3425	楽しい編み物講座	松本 富枝	5～12月 第2・4㊟ 13:30～15:30	25	材料費自己負担
	簡単エアロビクス	松村 喜美子	5～6月・9～11月 第1・3㊟ 10:00～12:00	20	ヨガマット各自用意
黒羽・川西地区 公民館 TEL 54-0184	基礎から始める絵画教室	菊池 由利子	5～2月 第1・3㊟ 13:30～15:30	15	画材等約10,000円
	簡単「ピラティス」	斉藤 史子	5～12月 第2・4㊟ 13:00～14:30	20	ヨガマット各自用意
両郷地区公民館 TEL 59-0111	楽しい3B体操	鈴木 とも子	5～12月 第1・2㊟ 9:30～11:30	20	用具代約1,200円 (初めての方のみ)
	初級木工教室	橋本 公夫	5～12月 第1・3㊟ 13:30～15:30	15	材料費等
須賀川地区公民館 TEL 57-0111	新・編み物教室	松本 富枝	4～12月 第1・3㊟ 13:30～15:30	20	材料費自己負担
	楽のびシニアヨガ教室	墨谷 真理江	5～12月 第1・3㊟ 9:30～11:30	20	ヨガマット各自用意
	はじめての終活講座	一般社団法人 こころっち	7月31日 8月7日・21日・28日 13:30～15:30	20	なし

## 【自主講座 将棋教室】

開催・受付場所	コース名	講師名	日時	定員	備考
大田原西地区 公民館 TEL 23-8719	将棋教室(初級者向け)	熊田 茂	5～9月 第2・4㊟ 9:30～11:30	20	初心者を優先
	将棋教室(中・上級者向け)		10～2月 第2・4㊟	30	小学生を優先